



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL http://www.istyle.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	16,225	17.1	242	△80.0	228	△81.8	59	△91.6
2018年6月期第2四半期	13,851	64.4	1,213	65.9	1,249	76.0	699	47.3

(注) 包括利益2019年6月期第2四半期 △21百万円(—%) 2018年6月期第2四半期 467百万円(△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	0.91	0.85
2018年6月期第2四半期	11.05	10.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	22,685	11,681	49.5
2018年6月期	21,911	12,008	53.0

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 11,224百万円 2018年6月期 11,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2019年6月期	—	0.00			
2019年6月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	15.9	250 ~600	△88.2 ~△71.8	180 ~500	△91.6 ~△76.7	0 ~100	△100.0 ~△91.6	0.00 ~1.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	67,350,600株	2018年6月期	66,927,600株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	2,693,508株	2018年6月期	2,693,452株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	64,403,722株	2018年6月期2Q	63,207,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2016年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を投資拡大のフェーズと定め、来期の中期経営計画最終年度の収益化加速に向けて、人的・資金的リソースを積極的に投入することとしております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、2018年12月3日に行いましたECのスペシャルイベント「@cosme Beauty Day」の宣伝を目的とした大規模プロモーションに4.6億円を投下しました。これにより一時的に大きく減益となりましたが、@cosmeブランドの認知拡大や新規ユーザーの獲得によって、プラットフォーム全体の価値が向上いたしました。

また、その他事業におきましては、前第2四半期連結累計期間において営業投資有価証券のキャピタルゲインを計上しておりますが、当第2四半期連結累計期間においては該当する取引がないため、前年同期比で大きく減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

売上高	16,225百万円 (前年同期比17.1%増)
営業利益	242百万円 (前年同期比80.0%減)
経常利益	228百万円 (前年同期比81.8%減)
税金等調整前四半期純利益	239百万円 (前年同期比80.6%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	59百万円 (前年同期比91.6%減)

①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合サイト「@cosme (アットコスメ)」を基盤とした各種サービス(BtoB、BtoC)が属しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、広告に次ぐ収益の柱と位置付ける新サービス「ブランドオフィシャル」の営業に人的リソースを戦略的に配分いたしました。新サービスの立ち上がりは遅れてはいるものの、広告サービスをはじめとする既存サービスが成長し、売上は堅調に推移いたしました。また、利益においては人員増強による人材関連費用や、サービスリリースに伴うシステム関連費用の増加によって減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	3,873百万円 (前年同期比6.3%増)
セグメント利益	1,237百万円 (前年同期比11.7%減)

②Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイト「@cosme shopping (アットコスメショッピング)の運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営や、プライベートブランドの企画・開発・販売等の、国内における小売業を中心としたサービスが属しております。

ECにおきましては、12月3日に行いました24時間限定のECのスペシャルイベントにおいて、通常の40倍以上の流通総額※1を記録するなど、大きく躍進いたしました。

国内の店舗におきましても、同イベントの実施や各店舗の着実な成長により増収となりました。

なお、同イベントのポイント還元による影響で、利益の伸びは限定的となっておりますが、今回獲得した新規ユーザーの継続利用を促進するとともに、更なる開拓を図ることで今後の成長につなげてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	7,032百万円 (前年同期比23.7%増)
セグメント利益	286百万円 (前年同期比 9.5%増)

※1 流通総額からポイント還元分を差し引いた金額を売上として計上

③Global事業

当セグメントには日本国外で展開するEC、店舗、メディア等のサービスが属しております。

EC・卸売におきましては、中国の越境ECにおいてW11※2という季節要因もありましたが、価格競争や中国政府のレギュレーション変更による卸先の買い控えが起こったことにより、売上の伸びは限定的となりました。

海外の店舗におきましては、香港1号店のStar House旗艦店の売上が好調に推移しており、売上・利益ともに大きく貢献しました。

なお、前第1四半期連結会計期間より損益計算書の連結を開始した、海外企業3社※3に対するのれんの償却(上期累計償却額:187百万円)を行っておりますが、償却費をこなしセグメント利益は黒字となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	4,723百万円(前年同期比23.1%増)
セグメント利益	68百万円(前年同期比27.1%増)

※2 中国で開催されるECの大規模なセール

※3 下記の3社

- ・ Hermo Creative(M)Sdn. Bhd. (マレーシアで化粧品ECサイト「Hermo」を運営)
- ・ i-TRUE Communications Inc. (台湾で美容系総合ポータルサイト「UrCosme」を運営)
- ・ MUA Inc. (米国で美容系総合ポータルサイト「MakeupAlley」を運営)

④その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業が着実に成長いたしました。また、投資育成事業におきましては、前第2四半期連結累計期間に営業投資有価証券のキャピタルゲインを計上しておりますが、当期は該当する取引がないため、減益となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	596百万円(前年同期比12.7%減)
セグメント利益	63百万円(前年同期比77.0%減)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ773百万円増加し、22,685百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し13,044百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が256百万円、商品が610百万円増加したものの、現金及び預金が871百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ782百万円増加し9,640百万円となりました。これは主に、無形固定資産のその他が744百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加し、11,004百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し7,267百万円となりました。これは主に、1年内返済長期借入金が521百万円増加したものの、短期借入金が600百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,184百万円増加し、3,736百

万円となりました。これは主に、長期借入金が1,170百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ327百万円減少し11,681百万円となりました。

これは主に、資本金が69百万円増加したものの、資本剰余金が394百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年12月3日に行いましたECのスペシャルイベント「@cosme Beauty Day」を目的とした大規模プロモーションにて、当初計画を2.6億円上回る資金を投下いたしました。追加投資については、第1四半期業績の上振れ分と今後の各事業の成長にて補填する予定でしたが、新サービス「ブランドオフィシャル」の受注進捗が予定より遅れているため、当初計画を下回る見込みであります。また、中国のレギュレーション変更により海外事業における見通しが現時点で不透明であるため、2019年2月8日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期業績予想をレンジ式にて修正することといたしました。

売上高	33,000百万円
営業利益	250百万円 ～ 600百万円
経常利益	180百万円 ～ 500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	0百万円 ～ 100百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,183	5,312
受取手形及び売掛金	2,707	2,963
商品	2,286	2,896
営業投資有価証券	999	1,469
その他	901	429
貸倒引当金	△12	△12
投資損失引当金	△12	△13
流動資産合計	13,053	13,044
固定資産		
有形固定資産	988	1,150
無形固定資産		
のれん	3,462	3,233
ソフトウェア	1,977	1,728
その他	190	935
無形固定資産合計	5,630	5,896
投資その他の資産		
投資有価証券	979	1,078
その他	1,262	1,516
投資その他の資産合計	2,240	2,594
固定資産合計	8,859	9,640
資産合計	21,911	22,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,617	1,811
短期借入金	1,800	1,200
1年内返済予定の長期借入金	1,312	1,833
未払法人税等	662	239
賞与引当金	236	204
その他	1,724	1,980
流動負債合計	7,351	7,267
固定負債		
長期借入金	2,505	3,675
その他	47	61
固定負債合計	2,552	3,736
負債合計	9,904	11,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,556	3,625
資本剰余金	3,513	3,119
利益剰余金	4,770	4,797
自己株式	△280	△280
株主資本合計	11,559	11,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	29
為替換算調整勘定	7	△66
その他の包括利益累計額合計	44	△37
新株予約権	74	149
非支配株主持分	330	308
純資産合計	12,008	11,681
負債純資産合計	21,911	22,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	13,851	16,225
売上原価	7,097	8,568
売上総利益	6,754	7,657
販売費及び一般管理費	5,541	7,415
営業利益	1,213	242
営業外収益		
受取利息	1	2
為替差益	22	—
投資事業組合運用益	5	—
持分法による投資利益	3	—
その他	12	11
営業外収益合計	43	12
営業外費用		
支払利息	7	8
為替差損	—	13
投資事業組合運用損	—	2
持分法による投資損失	—	2
その他	0	2
営業外費用合計	7	27
経常利益	1,249	228
特別利益		
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	—	30
特別損失		
減損損失	14	—
店舗閉鎖損失	—	19
その他	2	—
特別損失合計	16	19
税金等調整前四半期純利益	1,233	239
法人税等	508	180
四半期純利益	726	59
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	699	59

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	726	59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	△9
為替換算調整勘定	120	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	—
その他の包括利益合計	△258	△80
四半期包括利益	467	△21
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	434	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	33	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	3,645	5,686	3,837	684	13,851	-	13,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	28	18	4	60	△60	-
計	3,655	5,714	3,855	688	13,912	△60	13,851
セグメント利益	1,401	261	53	274	1,989	△776	1,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△776百万円は、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△781百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Beauty Service事業」セグメントにおいて、退店予定の1店舗について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において14百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間においてMUA Inc.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,692百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	3,873	7,032	4,723	596	16,225	-	16,225
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	64	22	4	98	△98	-
計	3,882	7,097	4,745	600	16,324	△98	16,225
セグメント利益	1,237	286	68	63	1,654	△1,412	242

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,412百万円は、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,416百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。